



東海道随一とうたわれた名園「帯笑園」を彩る春の草花

## 令和3年度 予算のあらまし

- 一般会計・特別会計・企業会計の予算を可決しました …… P.2~4

## 市政について問う！

- 8人の議員が一般質問(代表質問)を行いました …… P.6~10

## 委員会レポート

- 連合審査会(総務委員会・文教産業委員会)を開催 …… P.10



## 定例会の 主な内容

第8回（2月）定例会は、2月10日から3月19日までの38日間にわたり開催しました。この定例会では、市長から令和3年度の施政方針が述べられた後、令和2年度関係議案及び令和3年度関係議案等56件、議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。また、8人の議員が一般質問（代表質問）を行いました。（P.6～10）

ここでは、令和3年度の一般会計、特別会計（4事業）及び企業会計（3事業）の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

## 特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会 計	令和3年度予算額	令和2年度予算額	増減率
国民健康保険事業	209億7,200万円	211億7,500万円	△1.0%
土地取得事業	6,300万円	1億2,000万円	△47.5%
介護保険事業	170億円	166億2,400万円	2.3%
後期高齢者医療事業	27億2,800万円	26億9,000万円	1.4%
合 計	407億6,300万円	406億900万円	0.4%

## 企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	令和3年度予算額	令和2年度予算額	増減率
病院事業	124億1,300万円	126億400万円	△1.5%
水道事業	62億6,900万円	55億7,500万円	12.4%
下水道事業	105億8,700万円	98億3,100万円	7.7%
合 計	292億6,900万円	280億1,000万円	4.5%

### 特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 国民健康保険料の収納率を向上させる新たな取組は。

**答** 国民健康保険料の納付については、キャッシュカードを使って簡単に口座振替手続きができるPay-easy（ペイジー）口座振替受付サービスや、キャッシュレス決済サービスを新たに導入することで、保険料を納付しやすい環境の整備を図り、さらなる収納率の向上に努めていく。

**問** 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業の内容は。

**答** 各地域包括支援センターに設置されたコーディネーターが、認知症の方やその家族との相談等の中で把握した

生活上の困り事や希望などを認知症サポーターによる支援につなぐ事業で、認知症の方ができる限り地域で自分らしく暮らし続けることができる支援体制を整備するものである。

**問** 令和2年度までを計画期間とする沼津市立病院新改革プランの点検・評価結果が、本予算にどのように反映されているのか。

**答** 沼津市立病院新改革プランに対する評価委員会の点検・評価結果において、今後も引き続き、医師の確保や費用削減の取組を進めるようにとの意見があった。これを受け、市立病院では、病院長や

リクルート担当の副院長が大学医局を訪問し協力関係を強化するなど、医師確保に精力的に取り組み、令和3年度は、麻酔科、泌尿器科において医師を確保することにより、入院外来収益の増加を見込んでいる。また、診療に用いる材料の購入に当たっては、全国の医療機関の最新購入価格を比較できるベンチマークを活用して価格交渉に取り組んでいくとともに、共同購入品の採用を積極的に行うなど、費用の削減を盛り込んでいる。

**問** 水道料金の納付に係る新たな取組は。

**答** 時間や場所にとらわれずスマートフォンで納付できる

PayPayなどのキャッシュレス決済サービスを新たに導入することにより、納付方法の選択肢を増やし、水道使用者の利便性の向上に取り組んでいく。

**問** 水道事業において、建設改良費を令和2年度に比べ約7億円増額する理由は。

**答** 水源設備事業費において、柳沢水源地電気設備更新工事などの費用として、令和2年度と比べ約1億4,000万円の増、配水設備事業費において、大平地内配水管布設工事などの費用として、令和2年度と比べ約5億4,800万円の増を、それぞれ見込んだことから増額するものである。

# 令和3年度予算を可決しました!

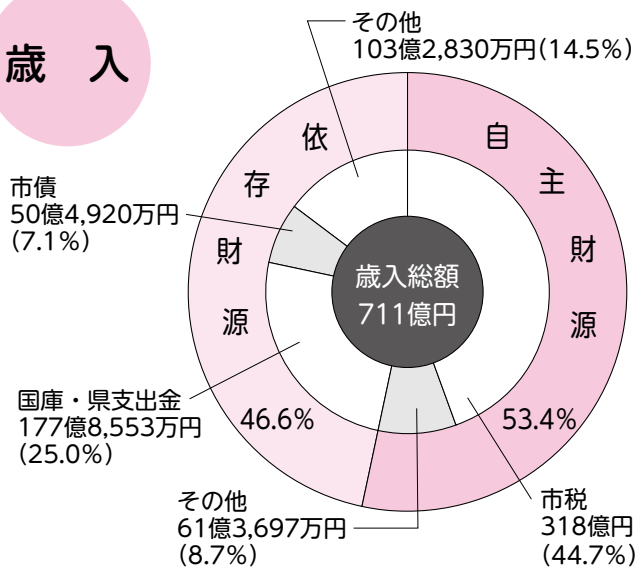
## 総額1,411億3,200万円

### 一般会計

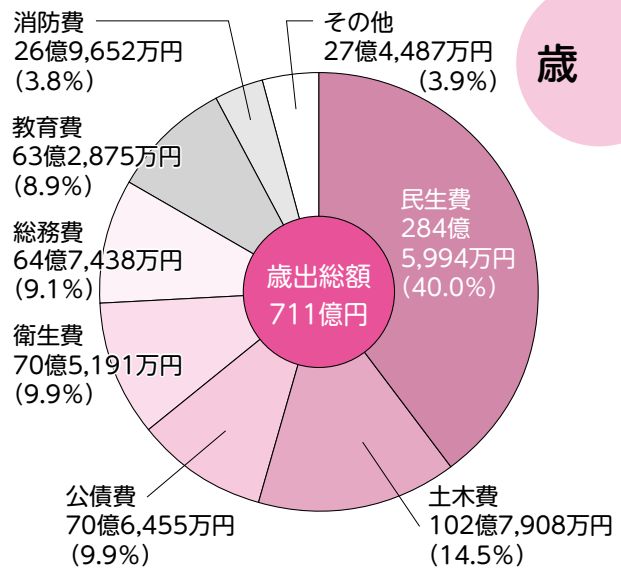
一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較増減	増減率
711億円	720億6,000万円	△9億6,000万円	△1.3%

#### 歳入



#### 歳出



#### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 令和3年度の予算編成に当たり、どのような点に留意したのか。

**答** 新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活や事業者の経営に多大な影響が出ている中においても、市政運営を継続して推進することが重要と考えている。このことから、令和3年度予算においては、新型コロナウイルスに打ちかち、産業を元気にする施策をはじめ、市民の健康や安全・安心の確保、スポーツを活用したまちづくり、ICTの活用などの視点から、進めるべき事業に必要な予算を措置した。本予算に基づき、静岡県東部における雄都沼津を実現するため、市民や議会と連携しながら各種施策に取

り組んでいく。

**問** 新型コロナウイルス感染症に係る固定資産税の軽減措置の内容は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入が減少した中小企業者等の税負担を軽減するため、保有する家屋や設備の固定資産税を、令和3年度に限り軽減するものである。具体的には、令和2年2月から10月までの任意の連続する3か月間の事業収入が、前年同時期と比べ、50%以上減少した場合は全額軽減、減少幅が30%以上50%未満の場合は2分の1軽減とするものである。

**問** 新しい働き方応援事業の

内容と効果は。

**答** 新しい生活様式に対応した働き方を推進することを目的に、市内企業を対象に、テレワーク等のデジタル技術を活用した働き方改革やウェブ面接等による人材確保の強化に関するセミナー等を開催するとともに、専門家をアドバイザーとして派遣し、企業に適した導入プランや運用プランの構築などの実践に向けたコンサルティング支援を実施するものである。これにより、魅力ある就業環境の整備を図り、地域経済を支える多様な人材の確保につなげていく。

**問** 総合的治水対策整備事業の主な内容は。

**答** 常襲浸水地域の浸水被害

の低減を図るため、沼川高橋川流域地区においては、高橋川の支流である井戸川雨水貯留池の整備に向け、残り1件の用地取得を進めた後、工事用道路の整備を、大平地区では、大平江川排水機場の躯体工事をそれぞれ実施するものである。

**問** 学校給食費の公会計化により期待される効果は。

**答** これまで教職員が行ってきた保護者からの学校給食費の徴収や滞納整理の業務を市が実施することにより、教職員の負担軽減が図られ、授業内容の充実に向けた準備や研究、児童生徒に向き合う時間を確保することができ、よりよい教育環境の構築が図られる。



# 令和3年度予算の主な事業

第8回（2月）定例会で可決された令和3年度予算の中から、主な事業を紹介します。

予算額

6億2,220万円

鉄道高架化  
関連事業

鉄道高架事業の推進を図るため、鉄道施設の移転に必要な調整池等の詳細設計や周辺道路の改良などの実施、新貨物ターミナルの基盤造成工事を行います。



▲鉄道施設移転先の整備を進めます  
(新車両基地完成イメージ)



予防接種事業

予算額

4億8,300万円

▲予防接種の再接種に係る経費を助成します

予防接種法に基づき、感染症を予防するもので、これまでの予防接種に加えて新たに、小児がん患者等が骨髄移植等により予防接種の再接種が必要となった場合の再接種に係る経費を助成します。

中心市街地  
まちづくり  
戦略事業

予算額

2,500万円



▲公共空間再編整備後の沼津駅南口駅前広場周辺の将来イメージ

「中心市街地まちづくり戦略」に基づき、ヒト中心のまちづくりの実現に向けて、駅前広場等の再編整備イメージを示す「公共空間再編整備計画」の策定を行います。

結婚新生活  
支援事業

予算額

1,200万円



▲新婚世帯の住宅費用等を補助します

若者の未婚化や少子化傾向の改善に向けて、新婚世帯を対象に、新生活に係る費用を助成し、経済的負担を軽減するための補助金を創設します。

いきいきスポーツ  
推進事業

予算額

650万円



▲生涯にわたるスポーツ活動を推進します

健康・福祉部門と連携し、幅広い世代に対応した地域体力づくり教室の開催や生涯スポーツ指導者の育成を行い、身近な地域における運動のきっかけづくりを進めます。

ICT活用教育  
推進事業



予算額

584万8,000円

▲ICTの活用を通じた教育の質の向上を図ります

学校教育の様々な場面におけるICTの活用を通じた教育の質の向上に向け、教職員の研修の充実を図ります。



スマートシティ  
推進事業

予算額

400万円

▲沼津版スマートシティ推進のため、ビジョンを策定します

ヒト中心のまちの実現に向けて、ICT等の先端技術を活用した「沼津版スマートシティ」を推進するため、産学官による協議会の設立やビジョンの策定を行います。

主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
条例	議第4号 沼津市経済変動対策資金利子補給基金条例の制定	■沼津市経済変動対策資金利子補給基金を設置します 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の中小企業者等に対して市が行う利子の補給に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するものです。	可決
	議第24号 沼津市屋内温水プール条例の廃止	■屋内温水プールを廃止します 令和3年3月31日をもって沼津市屋内温水プールを廃止することに伴い、沼津市屋内温水プール条例を廃止するものです。	可決
	議第25号 沼津市高齢者介護予防拠点施設条例の廃止	■高齢者介護予防拠点施設を廃止します 令和3年3月31日をもって沼津市高齢者介護予防拠点施設を廃止ことに伴い、沼津市高齢者介護予防拠点施設条例を廃止するものです。	可決
予算	議第44号 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第18回)	■7億4,780万8,000円を追加し、予算総額は1,011億6,849万9,000円となります 追加するものは、農業振興推進対策事業費14億4,789万4,000円で、減額するものは、新型コロナウイルスワクチン接種事業費7億8万6,000円です。財源としては、県補助金などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として農業振興推進対策事業14億4,789万4,000円を追加し、新型コロナウイルスワクチン接種事業を変更するものです。	可決
	議第45号 令和3年度沼津市一般会計補正予算(第1回)	■当初予算に11億3,860万2,000円を追加し、予算総額は722億3,860万2,000円となります 追加するものは、新型コロナウイルスワクチン接種事業費8億9,092万2,000円、公共交通支援事業費1億1,500万円が主なもので、財源としては、国庫負担金などをもって充てるものです。このほか、債務負担行為として経済変動対策資金利子補給金を追加するものです。	可決
人事	認第3号、認第4号 固定資産評価審査委員会委員選任の同意	令和3年3月31日をもって任期満了となる原國夫 <small>はらくにのぶ</small> 氏の後任として、下香貫上障子在住の村松久徳 <small>むらまつひさのり</small> 氏を選任するもの、また、令和3年3月31日をもって任期満了となる曾根恵子 <small>そねけいこ</small> 氏の後任として、大岡在住の塩川智史 <small>しほがわさとし</small> 氏を選任するものです。	同意
	認第5号 副市長選任の同意	令和3年3月31日をもって任期満了となる本字下小路町在住の棚谷明正 <small>とよや あきまさ</small> 氏を再任するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



会派別 賛否が分かれた議案一覧

○ = 賛成 × = 反対 ※ ( )内は所属議員数

	議案名	議決結果	志政会 (7)	自民沼津 (6)	市民クラブ (4)	公明党 (3)	立憲沼津 (3)	沼津市議団 (2)	日本共産党 (2)	未来の風 (2)	無所属 (1)
条例	議第27号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	
予算	議第30号 令和3年度沼津市一般会計予算	可決	○	○	○	○	(2) (1) ○ ×	×	×	○	
	議第31号 令和3年度沼津市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	
	議第32号 令和3年度沼津市土地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	(2) (1) ○ ×	×	×	○	
	議第34号 令和3年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	

・3月19日の本会議の採決において、市民クラブの議員が1人欠席しました。



# 一般質問

## 代表質問

第8回（2月）定例会では、市長の令和3年度施政方針に対する代表質問が行われ、7つの会派及び無所属の議員から質問がありました。

なお、今定例会では、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、市当局が新型コロナウイルス感染症対応に注力できるよう、一般質問のうち個人質問は行わず、代表質問のみ行いました。



※代表質問は全て、「一括質問一括答弁方式（通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式）」で実施しています。

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。



全ての質問項目（通告一覧）はこちら

### 会 政 志

本市における  
新型コロナウイルス感染症対策は

渡邊 博夫



**問** 本市における新型コロナウイルス感染症対策は。

**答** 市長／本市の対策については、これまで様々なタイミング・分野において時期を逸せず迅速に対応してきていて考えている。感染防止対策は、市の取組に加え、市民や事業者の懸命な努力もあり、現時点における本市の感染者数は減少傾向にあるものと認識している。今後、学校における感染症対策備品整備などにより市民の安全確保を図るほか、経済変動対策資金利子補給事業の実施により事業者を支援するなど、様々な取組を着実に実施していく。また、本市におけるワクチン接種については、国から示された方針等を基に、沿津医師会などの関係機関と協議を重ね、円滑なワクチン接種実施のため、万全を期していく。

**問** 鉄道高架事業に係る令和三年度の取組は。

**答** 市長／鉄道高架事業の前提となる新貨物ターミナルの用地取得が完了したことから、令和三年度は、新貨物ターミナルの造成工事に着手するほか、新貨物ターミナルと同時に施工する交差道路の構造物の設計を引き続き実施するなど、一日も早く市民が事業の効果を享受できるよう、これまで以上にスピード感を持

ち、県と連携しながら事業の推進を図っていく。

**問** 本市財政の健全性に対する認識は。

**答** 市長／コロナ禍においても、常に財政規律を堅持しつつ、地方創生臨時交付金など国・県の補助金を有効的に活用しながら進めており、財政調整基金残高や市税収入及び市債残高の状況などから、健全な財政状況が確保されているものと考えている。今後も引き続き、国・県の補助金を活用しながら、財政調整基金残高にも注視しつつ、健全な財政運営に努めていく。



▲キラメッセぬまづで行った  
ワクチン接種のデモンストレーション

**自民 沼津**

**管理不全な空き家の除去を  
推進するための取組は**

久保田 吉光



**問** 管理不全な空き家の除去を推進するための取組は。

**答 市長**／本市では、空き家を含めた耐震性のない木造住宅の除去に対し、一件当たり二十万円を上限とする補助制度を実施しているが、令和三年度からは、国の空き家再生等推進事業を活用し、外観目視の調査から屋根や外壁、基礎などに重大な損傷が認められるなど、管理不全な状態である空き家を不良住宅と認定し、その除去に係る費用として一件当たり八十万円を上限に支援する新たな補助制度を開始する。これにより、火災の危険性や倒壊のおそれに加え、衛生・景観面など、地域住民の生活環境を悪化させ、将来のまちづくりに影響を与える管理不全な空き家の削減を図っていく。

**問** 本市におけるコミュニティ・スクールについて、①令和二年度に第五中学校区と大岡中学校区をモデル地区として学校運営協議会を設置した成果と課題は、②目指すゴールは。

**答 教育長**／①学校運営協議会を設置した成果としては、広報紙やホームページを通じて地域への積極的な情報発信、地域の住民や団体などと連携した清掃活動の実施や花壇の整備、放課後の補習学習の実施などが挙げられる。一方、課題と

しては、さらなる事業の推進のためのノウハウの蓄積や協力者の確保などが挙げられる。②文部科学省では、コミュニティ・スクールの導入により、学校と地域住民等が目標・ビジョンを共有し、協働して学校運営に取り組むことにより、地域とともにある学校の実現を目指している。本市においても、全ての中学校区にコミュニティ・スクールの導入し、令和二年度に策定する沼津市教育大綱に掲げる「地域が学びを育て、学びが地域を育てる」「地域総がかりの教育」の実現を目指していく。

**用語解説**

コミュニティ・スクール

地域とともにある学校づくりのための有効なツールの一つである学校運営協議会が設置される学校を指す。学校運営協議会は、保護者代表、地域住民の代表が学校運営に参画し、学校運営の方針を承認したり、学校運営に対して意見を述べるもので、これにより地域総がかりで子供たちの教育に携わり、校長等の異動があっても持続性のある教育が推進されるのが期待される。

**市民クラブ**

**東都大学看護学科の開設に伴う  
沼津市立看護専門学校 の在り方は**

霞 恵介



**問** 東都大学看護学科が令和三年度に開設されることによる沼津市立看護専門学校の在り方をどのように認識しているのか。

**答 市長**／県内の看護職員数が全国平均を下回り、また、コロナ禍にある現状において、看護職員の確保は急務となっている。このような状況の中、本市に新たな看護学科が開設されることにより、さらに高度な医療技術や知識を有する看護師の養成が期待される。また、沼津市立看護専門学校は、これまで多くの実践力のある看護師を輩出してきた実績がある。地域において多様な養成機関が存在することは、地域医療の充実・強化に効果的であると考えており、今後は、志願状況や看護師需要の推移などに留意しながら、沼津市立看護専門学校の在り方について研究していきたいと考えている。

**問** ICT教育の充実に向け、学校現場での取組をサポートする体制は。

**答 市長**／令和三年度は、学校教育課内に情報教育推進室を設置し、教職員に対するICTの活用についての研修の実施、先進事例や各校における取組の情報共有、学校現場で生じる様々な問題への対応を行うなど、教職員一人一人をサポートできる体制を確保していく。

**問** 新型コロナウイルスの接種について、

①移動が困難な高齢者等への対応は。②副反応などについて不安を抱く市民への対応は。

**答 市長**／①本市における高齢者へのワクチン接種は、集団接種を基本とし、中央会場と市内六か所の地域会場での実施を予定している。また、介護施設の入所者などは、施設内で嘱託医による接種を行えるよう検討している。②厚生労働省が公表するワクチンの安全性や有効性などの情報を正確かつ適切に市民に提供するとともに、コールセンターを効果的に機能させ、市民一人一人の事情に応じて丁寧に対応し、正しい理解の下で安心して接種を受けられるよう努めていく。



▲地域医療の充実・強化に寄与する沼津市立看護専門学校



党 明 公

市民の生命や生活を守るための  
防災・減災の取組は

小泉 宣子



**問** 市民の生命や生活を守るための防災・減災の取組は。

**答** 市長／本市では、これまでも地震や津波、洪水などの自然災害に対応するための防災・減災対策を最重要課題の一つとし、市内各地域の特性に応じた地震・津波対策や大規模災害への対応などに取組んできた。また、令和二年八月には、水害の軽減についての協議や情報共有を行う狩野川流域治水協議会に参加し、国や県、近隣市町との連携を図っている。令和三年度からスタートする第五次沼津市総合計画においても、災害に強いまちづくり、強靱な地域づくり、自主防災力の向上などを基本施策として位置づけており、市民の生命、財産を守るとともに、誰もが安全・安心を実感できるまちづくりを推進していく。

**問** 施政方針に掲げる誰もが安全・安心のもと暮らすことができるまちをどのように目指すのか。

**答** 市長／災害は起きるものとして、行政、地域、企業、市民の一人一人が災害リスクを認識し、危機意識を持ち、それぞれが対応策を持って連携して取り組むことで、安全性が向上し、安心して暮らせるまちになると考えている。

**問** 生活困窮者に対する支援の取組は。

**答** 市長／生活困窮者に対しては、それぞれの事情に応じたきめ細やかな情報提供や助言を行い、緊急保護費や住居確保給付金の支給及び就労・学習などの自立相談支援を実施している。さらに支援が必要な場合には、生活保護制度を適用し生活の安定を確保する中で、就労などの自立支援を行い、再起を促している。令和三年度においても家計の改善に係る支援事業を新たに開始するなど、生活困窮者の早期自立に向けた取組を、より強化していく。



▲生活困窮者からの様々な相談に対して助言・支援を行っている

津 沼 憲 立

沼津駅周辺地区を質の高い  
まちなみ景観にするための取組は

梅沢 弘



**問** 沼津駅周辺総合整備事業において、整備予定の鉄道高架構造物は、長さ約五キロメートル、最大の高さが約十五メートルに及ぶコンクリート壁であり、その存在は、沼津駅周辺の景観を大きく損なわせるものであると考え、①本市の認識は。②本市の目指す質の高いまちなみ景観に向けた取組内容は。

**答** 市長／①鉄道高架構造物は、橋梁形式であるため、高架下に広大な空間が生まれ、その高架下に通路を整備することにより、駅の南北を自由に行き来することが可能となるほか、回遊性が生まれ、



▲高架下の空間を活用したイメージ図

南北の市街地の一体化やまちなみにぎわいが創出されていくものと考えている。本構造物を整備する際は、駅周辺に圧迫感を与えない景観に配慮した空間デザインとなるよう取り組んでいく。②沼津駅周辺地区を、人中心の空間として再編するため、公共空間再編整備計画を令和三年度に策定し、併せて沼津市景観計画の見直しを行う。今後は、県をはじめとした関係機関と連携の上、質の高いまちなみの景観を形成し、市街地環境の改善や都市の魅力向上に取り組んでいく。

**問** 沼津市営住宅条例では、入居の際、連帯保証人を求めているが、連帯保証人の確保が困難で生活が困窮している市民の立場に立ち、本条例を改正し、連帯保証人の要件を外すべきであると考え、本市の認識は。

**答** 市長／市営住宅への入居を希望している生活困窮者が、連帯保証人の確保が困難なために入居できないといった事態が生じないよう、連帯保証人と同じ役割を果たす機関保証の導入について検討を進めている。機関保証は、本条例を改正することなく導入が可能であることから、早期導入に向けて手続を進め、連帯保証人の確保が難しい場合の入居の円滑化を図っていく。





**鉄道高架事業による市民生活の向上や  
地域経済の見通しは**

川口 三男



**問** 令和三年二月十九日に新貨物ターミナル用地の強制収用が実施され、今後、鉄道高架事業が推進されることになるが、

①県知事の自分の任期中には強制収用はしないという公約に対する認識は。②市民生活の向上や地域経済の見通しは。③財源の確保の考えは。

**答** 市長／①県知事は、本事業の必要性等について十分理解していると認識している。知事の公約について評価することは差し控える。②本事業は、交通環境の改善により、本市の南北都市軸の形成を確固たるものとし、まちの拠点性や回遊性を向上させ、本市が持つ強みやポテンシャルを十分に発揮できる都市構造にすることで、市全体の発展につながるものである。また、中心市街地においては、高架下に生まれる新たな都市空間などに市民が求める多様な都市機能を集約することで、拠点性や生活の利便性が高まり、まちなか居住の促進等が図られ、民間投資の促進や新規雇用の創出など、地域経済の活性化にもつながると考える。③国・県においては、県東部地域の拠点都市として、本事業の重要性を理解していることから、今後も計画的かつ集中的に補助金が確保されるものと認識しており、必要な財源の確保を図りながら着実に事

業を進めていく。

**問** 第五次沼津市総合計画の計画期間における新たな財政見通しを策定し、市民に公表すべきであると考えるが、本市の認識は。

**答** 市長／新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今後の市税など収入科目ごとの歳入面の影響を見通すことは非常に困難であることから、状況を注視しつつ、歳出面では、大型事業である沼津駅周辺総合整備事業や中間処理施設整備事業の事業スキーム及び事業費を確認した上で、その策定手法や期間、公表方法等も含め、検討していく。

**問** 生活困窮者等への支援策として生活保護制度があるが、コロナ禍の影響により貧困が進む中、生活保護の申請をちゅうちよとする原因となっている親族等への扶養照会の取扱いは。

**答** 市長／新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市民に生活保護制度などの支援制度をためらうことなく利用してもらうことが重要であると認識している。生活保護制度において課題とされてきた扶養照会の取扱いについては、国から示された弾力的運用の方針に基づき適切に対応し、市民一人一人の生活の維持・安定に尽力していく。

**未来の風**

**厳しい財政状況の中  
大型事業の実施に対する本市の認識は**

山下 富美子



**問** 本市の普通建設事業費は、十年間で約四十五%減少している。これは、本市の厳しい財政状況の表れであると認識しているが、そのような中で香陵公園周辺整備事業における新体育館の建設、新中間処理施設の整備、新屋内温水プールの整備など、大型事業の実施に対する本市の認識は。

**答** 市長／普通建設事業費は、基本的に財政負担が偏らないよう、事業の平準化に努めているところである。大型事業は、事業計画やその進捗状況により、年度によっては事業費が増加するものであるが、新体育館建設、新中間処理施設整備、新屋内温水プール整備については、事業計画に基づき、単年度の負担を軽減する事業方法を検討しつつ、粛々と実施していく。

**問** 令和三年度一般会計予算案に示された当初予算額は、令和二年度の当初予算額と比べ減額となっているが、一般財源総額の見込みと、これに対する評価は。

**答** 市長／令和三年度当初予算案における一般財源総額は、コロナ禍の影響などにより市税収入が減少する一方で、地方特例交付金や地方交付税等、国の財政支援が増加することなどを踏まえ、四百五十一億七千五百三十五万五千円と見込んだものである。本市の一般会計における一般財源総額については、ここ数年ほぼ四百五十億円台で推移しているところであり、コロナ禍においても、本市の事業実施に必要な財源確保に取り組んだものである。



▲新体育館のイメージ図

**用語解説**  
普通建設事業費  
道路や学校、橋梁、公営住宅等の建設などに要する投資的な経費のこと

無所属

健全な財政運営に対する認識は

大場 豪文



**問** 健全な財政運営に対する考え方と、市民に対し本市財務状況の情報を発信する方法は。

**答** 市長／健全な財政運営とは、市民生活に必要なサービスを安定的に供給するとともに、将来の市勢発展を支える都市基盤整備や産業の振興を図ることによって、市税等を確保し、さらに未来への投資につなげるという循環を持続することであると考えている。また、その中においても、災害等の不測の事態に備えるための基金を堅持していくことが重要である。こうした考えの下、結果として示される財政指標については、良好な数値で推移しているかを常に検証・評価しつつ財政運営を行っていくことが重要であると認識している。こうした本市の財政状況については、市民に対し市ホームページや広報紙などを通じて、引き続き分かりやすい情報発信に努めていく。

**問** 新型コロナウイルスは、市民生活に大きな制限を与えており、特に、人と人が交流することに不安を感じる市民も多いと考えるが、コロナ禍における協働のまちづくりの現状に対する認識と今後の取組は。

**答** 市長／コロナ禍にあつては、地域における環境美化活動や防災活動などの市

民との協働のまちづくり活動が中止や縮小を余儀なくされる状況にある。このような状況にあつても、市民団体が行う活動報告会や、民間支援まちづくりファンダ事業におけるアドバイザー会議をオンラインで開催するなど、効果的な周知活動や会議の効率化につながる成果もあつたものと考えている。今後も、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、このようなICTの活用等により、活力ある協働のまちづくりを推進していく。



▲民間支援まちづくりファンド事業のオンライン報告会

委員会レポート 連合審査会（総務委員会・文教産業委員会）を開催

委員会  
レポート

沼津市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の制定

～スポーツを活用したまちづくりを推進するため

スポーツに関する事務を市長部局へ移管します～

本議案は、総務委員会に付託された案件ですが、総務委員会と文教産業委員会の両委員会に関係する内容であるため、連合審査会を開催し、市当局から説明が行われ、委員から質疑がありました。

目的

スポーツに係る施策を一体的に実施できる体制を構築し、スポーツを活用したまちづくりをさらに推進する

内容

スポーツに関する事務<sup>(※)</sup>を、市長が管理及び執行する  
※学校における体育に関する事務を除く

連合審査会で交わされた主な質疑

**問** スポーツに関する事務を教育委員会から市長部局へ移管するメリットは。

**答** にぎわい創出のためのスポーツ施策と市民スポーツに係る施策を一体的に実施することで、スポーツを活用したまちづくりを、より効果的に推進することに加え、現在、教育委員会と産業振興部で別々に実施しているスポーツイベントを一元的に管理・実施することで、業務の効率化を図るものである。

**問** 教育委員会が担ってきた生涯スポーツや市民の健康づくりなどの分野に関する取組の継続は、どのように担保されるのか。

**答** これまで教育委員会のスポーツ振興課において推進してきたこれらの分野については、令和3年度以降は、産業振興部に新設するウィズスポーツ課の所掌事務として事務分掌規則の中に明記し、取組を推進していく。



## 沼津市議会における新型コロナウイルス感染症対策の取組

沼津市議会では、これまで様々な新型コロナウイルス感染症対策の取組を行ってきました。  
令和3年も、会派代表者の会や議会運営委員会において、感染防止のための対策の検討・協議を行い、引き続き市議会として必要な対策を実施していきます。

### 令和3年1～3月の主な取組

#### オンライン会議への対応

新型コロナウイルス感染症対策として**オンライン会議に対応**するため、関連する規則及び条例の一部改正について、改正内容を会派代表者の会において検討・議論を重ねました。

その結果、2月定例会最終日に、議員発議により**沼津市議会会議規則及び委員会条例の一部改正**を行うことについて、議会運営委員会において了承しました。



**発議第1号**  
沼津市議会会議規則の一部改正

**発議第2号**  
沼津市議会委員会条例の一部改正

#### 改正内容

新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置の観点等から、委員会の開催場所への参集が困難と判断される実情がある場合において、オンラインを活用した委員会を開催することに関し必要な事項を追加するものです。

#### 当番制による登庁の実施など

1月18日から2月9日までの間、議員の感染防止を図るため、**登庁する議員を当番制とし**、議員同士が極力接触しない体制としました。また、感染状況に鑑み、1月下旬に予定していた**議員研修会を延期**し、3月にオンラインで開催しました。



▲市議会の取組について、正副議長が市長へ報告しました

#### 代表質問のみの実施

現在の新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、市当局が新型コロナウイルス感染症対応に注力できるよう、2月定例会の一般質問において**個人質問は行わず代表質問のみとすること**となりました。





戸田小中一貫学校  
6年  
ひろあきりこ  
広崎莉子さん

# ぼくとわたしの ゆめ たから



大岡南小学校  
6年  
やしんのすけ  
八木進之介さん

## かがやける将来

ぼくは、将来、人を喜ばせる人になりたいです。なぜかというと、元々笑顔が好きだし、大切な人を一度なくした経験があるから、喜んでくれる人がいると、自分の心の支えになる気がするからです。ほかに、喜んでもらえると、自分が安心できると思っています。

なので、将来の自分のために今は、あいさつで人と人の仲を深めたり、相手意識を強くもって、人の役に立てたりできるように、心がけていきたいです。

そして将来、かがやける自分になりたいです。

## 大切にしたい戸田の宝

私の住んでいる戸田の宝を紹介します。一つ目は、豊かな自然です。鳥の口ばしのような形で、戸田の港を包み込むような御浜岬は白い砂浜、緑の松、青い海に囲まれています。その向こうには、そのの広がった富士山を見ることが出来ます。二つ目は、地域の人達が見守ってくれることです。色々な人が声をかけてくれることです。帰り道、「おかえり」「元気か？」など、おじいさんやおばあさんが声をかけてくれます。そういう声を聞くのが元気の宝になります。

三つ目の宝を大切にしていきたいです。

## 議員研修会を開催しました

令和3年3月24日、「議員の役割とコンプライアンス」と題して、全国都道府県議会議長会 元議事調査部長 野村稔氏を講師とし、議員研修会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、初の取組としてリモートによる講義という形式で開催しました。

研修内容は、議員の役割の基本を再確認し、遵守すべきことやあるべき姿について考えるもので、今後の議員活動に生かせる気づきを学んだ研修会となりました。

また、現在、オンライン会議について取組を進めている中で、リモートにより講義へ出席するなど、貴重な機会となりました。

大型スクリーンとタブレット端末を使い、リモート講義を受けました▶



◀研修会場を、9部屋に分散して開催しました

## 沼津市議会 定例会の予定

定例会		開会予定日	閉会予定日
令和3年	第9回(6月)	6月7日(月)	6月28日(月)
	第10回(9月)	9月15日(水)	10月15日(金)
	第11回(11月)	11月26日(金)	12月17日(金)
令和4年	第12回(2月)	2月10日(木)	3月22日(火)

※都合により変更する場合があります。

※詳細は、招集告示日(定例会開会1週間前ごろ)に開かれる議会運営委員会で協議されます。



議会だより次回発行予定 令和3年8月15日



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

### 議会だより編集委員会

委員長 加藤 明子  
副委員長 浅田美重子

委員 平野 謙  
委員 小泉 宣子

委員 深田 昇  
委員 市川 道隆

委員 岡田 進一  
委員 山下富美子